

④

お口を起点に始まるオーラルフレイルから「Frail No More」を実現 歯っぴー株式会社

提案の背景

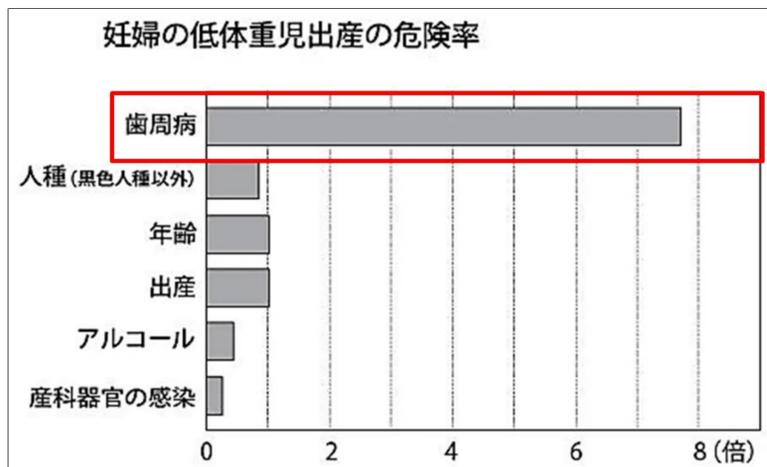
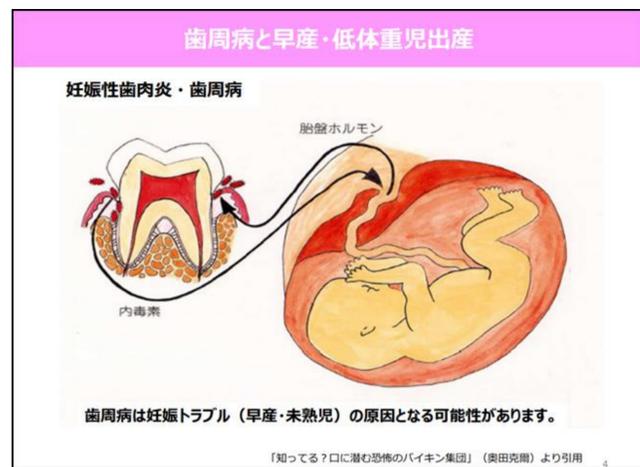
市民の健康づくり、生活習慣の改善支援

お口の健康と身体との関係、更に口腔ケアによる自身の免疫力を上げることによる感染症との関係も明確になってきた。

高いとは言えないお口の健康習慣に対して、五感情報の約90%を占める視覚情報による健康習慣定着を目指す。

トライアル概要

歯周病罹患者の低体重リスクは7倍
妊婦の羊水や胎盤組織から歯周病菌が検出



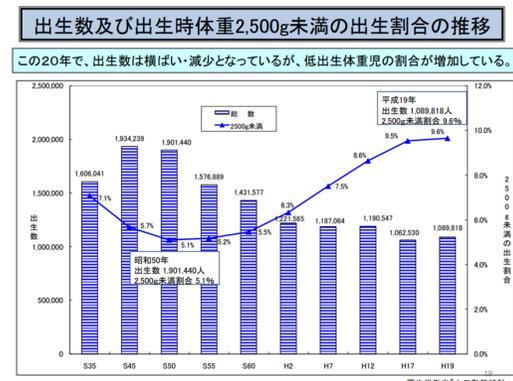
健康増進課主体で進めている「子育て支援」をフィールドとしたトライアルを行う。

妊娠時はホルモンの影響で口腔環境が悪化しやすく、口腔環境の悪化による低体重リスクは約7倍とされ、必要な妊婦さんへの行動変容を促したい。

合わせて、1歳6カ月歯科健診でトライアルを行い、視覚情報の提供によるインフォームドの向上への貢献を確認する。

(出典)：続・日本人はこうして歯を失っていく

期待される効果・実現する未来社会



妊娠時はホルモンの影響で口腔環境が悪化しやすく、従来とは異なるアプローチによる妊婦さんの歯科治療への動機づけ、習慣への定着による高い子育て支援の実現が期待できる。

(出典)：厚生労働省(https://www.mhlw.go.jp/shingi/2009/07/dl/s0708-16f_0005.pdf)

